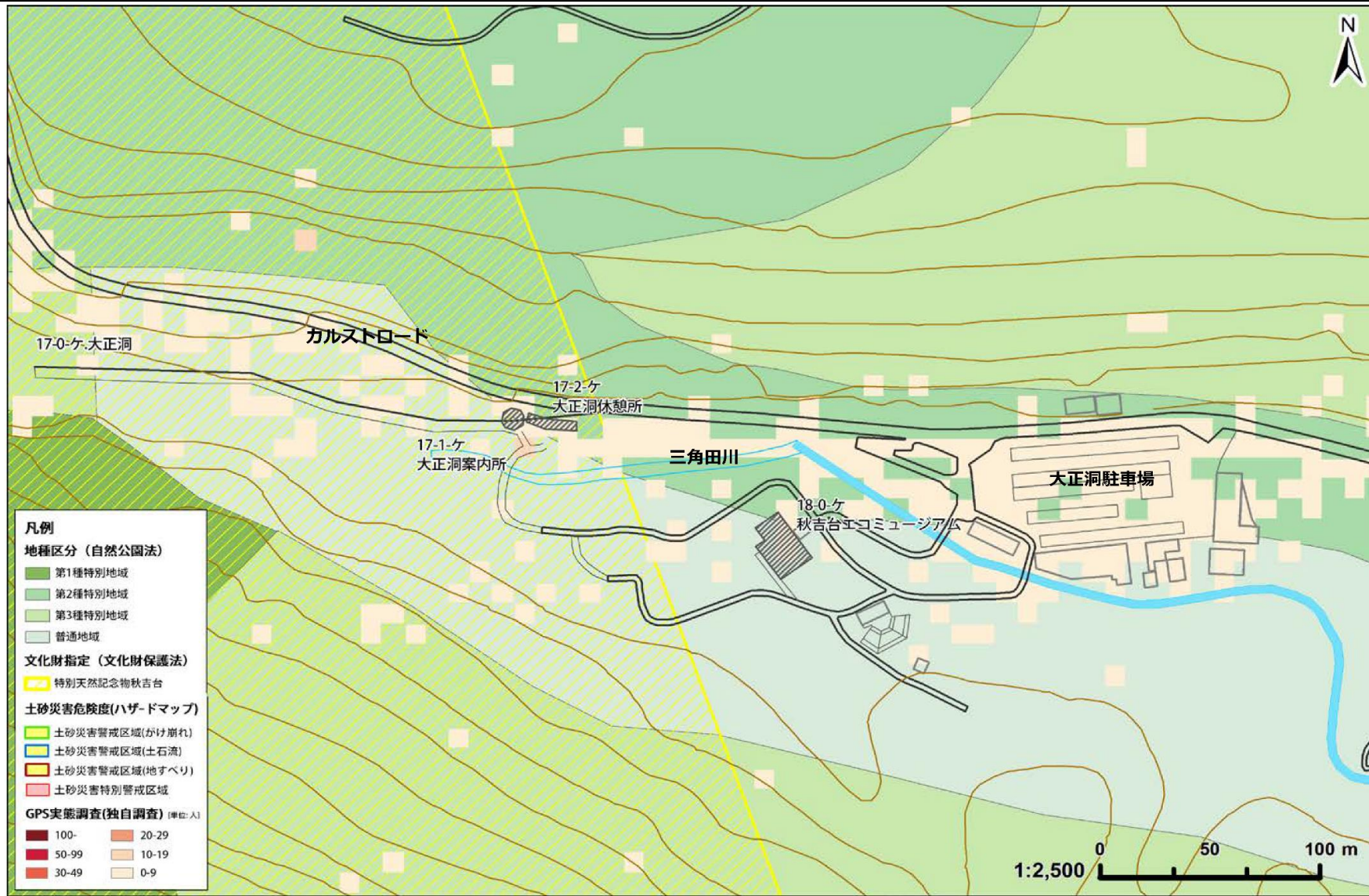


エリア配置図



エリア番号	エリア名称
-------	-------

ケ	大正洞
---	-----

エリアの位置づけ

- ・秋吉台東北側、カルストロード沿いにある洞窟。主要三洞窟の一つ。
- ・大正時代に発見された洞窟であることから、その名がつけられた。
- ・大正洞案内所、大正洞休憩所、秋吉台エコミュージアムが緑地内の遊歩道沿いに立地している。沿道には三角田川が流れ、桜並木がある。

エリア周辺の状況

- ・本エリアが面するカルストロードは秋吉台観光における定番ルートであり、隣接する大正洞駐車場は、多くのバイクや自動車利用客の休憩スポットとして利用されている。
- ・駐車場東側の本エリアは一体の緑地として整備されているが、案内サイン等も不十分かつ視認性が悪く、駐車場利用者が足を運ぶ流れができていない。
- ・大正洞案内所、休憩所は老朽化と共に見た目にも利用率が低く、寂れた印象である。
- ・秋芳洞、景清洞と比較し、洞窟内部の状況や体験内容の発信力が弱く、訴求力に欠ける印象。

ポータルフォリオ分析に基く施設整備に関する課題抽出・整理

- ・総合的に、ソフト評価は非常に低く、ハード評価も低い。
- ・17-1-ケ.大正洞案内所は、ソフト・ハード評価共に非常に低く、特にソフト評価全般、ソフト評価のうち経済的評価は全対象施設中最も低い。
- ・17-2-ケ.大正洞休憩所は、ソフト・ハード評価共に非常に低く、特にソフト評価のうち利用状況は1日1人程度の利用と、全対象施設中最も低い。
- ・本エリアは、ソフト・ハード両面で抜本的な整備方針の検討が望まれる。
- ・18-0-ケ.秋吉台エコミュージアムは、ソフト評価は平均をやや上回り、ハード評価は非常に高い。訪問頻度の割りに利用者満足度が高く、観光施設としてのポテンシャルが高い。

エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿

- ・秋芳洞・秋吉台エリアの特徴である主要三洞窟の一つとして、他の洞窟との差異化を図り、全体方針に沿った整備の実施が望まれる。
- ・遊歩道の回遊動線を活用し、カルストロードや駐車場利用者を引き込む工夫がソフト、ハード両面で必要である。

管理番号-棟番号-エリア番号	17-0-ケ	17-1-ケ	17-2-ケ	18-0-ケ	エリア総合	全施設平均
施設名称	大正洞	大正洞案内所	大正洞休憩所	秋吉台エコミュージアム		
ハード評価	老朽化判定	32.6	28.6	36.7	30.5	
	建築年数	10.7	10.7	11.5	33.6	
	災害危険度	25.0	25.0	25.0	25.0	
	耐震性能	0.0	0.0	0.0	50.0	
	バリアフリー性能	0.0	0.0	0.0	12.5	
合計	13.7	12.8	14.6	30.3	17.9	21.3
ソフト評価	経済的評価	6.7	0.0	14.2	12.9	
	利用状況	2.1	2.1	0.0	27.8	
	実態調査	2.4	2.4	2.4	1.3	
	満足度調査	13.9	13.9	13.9	14.4	
合計	6.3	4.6	10.2	14.1	8.8	13.9